日本大学理工学部長からのメッセージ
在学生とその保護者のみなさまへ

はじめに，本学の前理事長および元理事の逮捕・起訴につきましては，学生・保護者のみなさまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますこと，心よりお詫び申し上げます。また，本件発生後，すみやかにご説明を行うことができず，誠に申し訳なく思っております。

今回の不祥事ならびに連日の報道により，日ごろの何気ない友人との会話においても，＜日大生＞であることで肩身の狭い思いをしたという話も耳にしております。日々勉学に励み，また目標に向かって一歩ずつ進んでいる学生のみなさま，ならびにご子息，ご息女をお預けくださっている保護者のみなさまには，理工学部長として平身低頭してお詫び申し上げることしかできません。

すでに大学ホームページにて発信させていただいておりますが，本学は逮捕・起訴された前理事長および元理事のすべての役職を解任し，関係者との決別を進めております。また，当該２名が強く関わっておりました日本大学事業部や校友会につきましては，すみやかに関係性の見直しをはかってまいります。学生・保護者のみなさま，さらには社会からの信頼を早急に回復すべく，体制の再構築を進めております。

本事件は大学の経営に関する問題ではありますが，日本大学理事も拝命している立場上，私にも相応の責任があることは十分に認識しております。最優先で取り組むべきことは，学生や保護者のみなさまのご心配を確実かつ早急に取り除くこと，そして眼前の諸課題と真摯に向き合い，またみなさまの声に一つひとつ丁寧に向き合いながら，目に見えるかたちで日本大学を再生・改善することに他なりません。みなさまからのご意見やご要望の聴取方法につきましては別途ご案内させていただきますが，しっかりと拝読させていただき，改善策の実行につなげてまいります。

今年度，理工学部は創設から１０１年目を迎えております。１９２０年の日本大学高等工学校の誕生以来，私たちは絶えず「ものづくり」の実践，そしてその基礎となるＳＴＥＡＭの学びを教育の根幹に据えてまいりました。このコロナ禍にあっても，実験実習科目を中心として，ＩＣＴを活用しながら対面での授業を積極的に実施してまいりました。こうした教育に関する取り組みは，学生のみなさんの「学びを止めない」という強い姿勢によるものです。いまだ感染への懸念が続いておりますが，次年度においては，できるだけコロナ前の学生生活に戻せるように，会議に会議を重ねながら多角的に対策・対応を検討しているところです。

授業を中心とする教育・研究活動，就職活動をはじめとする各種の学生支援等は，今後も体制が揺らぐことは一切ございません。「自主創造」という本学の理念をあらためて見つめ直し，教職員が一丸となって，これまで以上に「学生ファースト」な大学を創り上げてまいります。とくに，理工学部につきましては，これからも「未知未踏への挑戦」を続け，より質が高く丁寧な教育を行うべく，攻めの姿勢を貫くことをここにお誓い申し上げます。

令和３年１２月２５日
理工学部長
青木　義男